みちした

令和８年 11 月 18 日

魚津市立道下小学校

↑学校ウェブサイトはこちらからどうぞ

立冬を過ぎ、朝晩の冷え込みに冬の足音が近づくのを感じます。先日の音楽発表会では、子供たちの真剣な表情や自信をもって発表する姿に、大きな成長を感じました。保護者の皆様からも温かな励ましやお褒めの言葉をいただき、子供たちが多くの方々に見守られながら成長していることを改めて実感しています。保護者の皆様から寄せられる温かなお言葉は、子供たちだけでなく、私たち教職員にとっても大きな励みとなっています。

心を一つに取り組む心地よさを　～音楽発表会～

10 月 31 日（土）に行った音楽発表会は、子供たちにとって、心を一つに取り組む心地よさを感じ、自分の成長を感じる機会となりました。午後の道小フェスティバルでは、富山村田製作所スタッフの方々による「ロボットショー」を参観しました。子供たちは、電子機械部品の変遷やものづくりに関わる仕事、ロボットの動き等に関心を寄せていました。育成会理事の皆様、当日役員の皆様には、準備や運営にご協力いただき誠にありがとうございました。















↑→【音楽発表会の様子】





→【ロボットショーの様子】

交通安全の大切さを再確認　～第 11 回交通安全標語コンクール～

10 月 30 日（金）、第 11 回交通安全標語コンクール授賞式を行いました。この事業は、魚津市交通センター道下支部が主催し、２・４・６年生が考えた標語を審査、最優秀作品を学校前に掲示するという取組です。道下地区は、見通しの悪い道路が多く、車の交通量も多いため、交通安全については一層の注意が必要です。この取組を大切に続け、子供たちの意識がさらに高まることを願っています。



【R8年度最優秀作品】

自ら考え、挑戦し、学ぶ子を育てるために

10 月に実施した６年生の宿泊学習では、「自主自律」をテーマに、自分で考えて行動すること、自分自身で規律を守ることを意識して活動しました。子供たちは、仲間と相談しながら課題を解決したり、自分で判断して行動したりする経験を通して、多くの学びを得ることができました。

一方で、日々の教育活動の中では、「主体的に学ぶ力」を育てることを大切に授業改善に取り組んでいます。文部科学省は、主体的な学びを「学習に対する見通しをもって粘り強く取り組み、学習を振り返って次につなげる姿」と定義しています。「なぜ学ぶか」を意識できる問い、「学習の進め方やゴール」が分かること、学んだ内容や考え方を「次の学びにつなげる」時間の確保等を大切にしています。そして、子供たちが安心して自分の考えを話せること、失敗してもやり直せること、仲間と認め合えることが大切な土台となるため、学校では、温かな人間関係づくりや、一人一人が安心して学べる学級づくりに努めています。また、本校の子供たちには、失敗や未知のことに慎重になる姿も見られます。だからこそ、挑戦したことそのものを認め、励ますことを大切にしていきたいと考えています。

ご家庭でも、「やってみたこと」「挑戦したこと」に目を向け、温かく声をかけていただければ幸いです。学校と家庭が力を合わせ、子供たちの自主自律の力と主体的に学ぶ力を育んでいきたいと思います。

【６年生宿泊学習より】

［来拝山登山］

グループごとに自分たちのペースを考えて登山しました。メンバーの体力や歩き方を考え相談しながら、それぞれのグループが自分たちのペースで登頂を目指しました。自分たちで考え行動したことが、達成感や満足感につながったようです。



［ブッシュクラフト　～シェルター作り、ソロ焚火料理～］

ブッシュクラフトとは、自然環境の中における「生活の知恵」の総称で、活動や技術などのことを言います。自然の中にある木やロープ、タープを利用してシェルター（簡易テント）を作りました。昼食は、メタルマッチを使って焚火料理に挑戦し、杉の葉や枯れ枝を拾って、一人一人が料理しました。これらの活動は、災害時にも役立つ技術であることから、防災教育の一環にもなりました。





【日々の教育活動より】

［全身を使った文字の練習］

１年生国語科「カタカナ練習」では、体全体を使った書き順練習を取り入れています。体を動かす、声を出す、みんなと声を合わせる、などの活動を通して楽しく学ぶ様子が見られました。



［図書委員会による読み聞かせ］

読書週間にちなんで、図書委員児童が大型絵本の読み聞かせを行いました。参加児童はお話の世界にたっぷりと浸っていました。相手を意識して伝える活動により、温かな心の交流の機会にもなりました。

